

シウダ・ビエハ地区（旧市街）及びその周辺におけるひったくり被害が後を絶ちません

当国の観光地の一つであるシウダ・ビエハ地区（旧市街）やセントロ地区、バリオ・スル地区において、邦人のひったくりや盗難被害が頻発しております。同地区は、平日の昼間は人通りが多く比較的危険は少ないですが、休日（土日を含む。）は昼夜間とも人通りが少なく、ひったくり犯や強盗犯の標的になりやすくなります。広い通りであっても事件が発生しておりますので、十分ご注意下さい。

観光客が行き交う通りから一歩違う道に入ると、街の空気が一変して観光地でない雰囲気を醸しだします。

これまで、同地区で発生したひったくり事件は、次のようなものです。

- 歩行中、2人組とすれ違った際、両腕をつかまれポケットから貴重品を奪われた。
- 歩行中、5人組に取り囲まれ、ショルダーバックを奪われた。
- 歩行中、2人組とすれ違った際、後ろからショルダーバックを奪われた。
- 歩行中、2人組とすれ違った際、手に持っていたデジタルカメラを奪われた。
- 親切そうな男に道案内を頼んだところ、空き地に連れて行かれ首を絞められ、現金を要求された。
- レンタカーを利用中、停止して地図を確認していたところ、男に後部のドアを開けられ、荷物を奪われた。
- 2人で歩行中、男一人が近付いてきて斜めがけにしていたショルダーバッグを、ヒモを引きちぎって奪われた。

平成26年8月18日

在ウルグアイ日本国大使館領事